

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 和田知佳
所属 (School) 工学研究科 電気情報系専攻
学年 (Grade) M 2

留学先 (Name of overseas institution)
台南大学

留学期間 (study abroad period)
2018年8月10日(金)~8月16日(木)
記入日 (Date) 2018/8/17

留学レポート Study Abroad Report

この度、国立台南大学でのサマーキャンプに参加させて頂きましたので、そのレポートを記します。

まず、私がこのサマーキャンプに参加した理由は、サマーキャンプの議論内容である「SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS」、及び台南大学の学生の方との英語でのディスカッションに興味があったためです。実際にサマーキャンプ2日目、および3日目は台南大学の学生の方とSDGやSystem Thinking, Design Thinkingの授業を受けました。授業は英語であったため、普段の授業よりも難しく感じましたが、同じグループの子たちと相談し、お互いに分からないところを教え合いました。授業ではグループディスカッションの時間がいくつか設けられており、お互いに英語で意見を述べ合いました。私はグループの中で一番年上であったことから、グループをまとめる役割をしました。一方で同じグループの台南大学の学生の方は、専攻がBusiness Managementであったことから、私では思いつかないような意見をくれました。日本人も台湾人も英語がネイティブではないので、意見を共有し合うことは大変でしたが、その分相手の意見を集中して聞き、絵なども使い、分かりやすく伝える努力をお互いがしていたと思います。

3日目の後半以降は各グループが1つの問題提起を行い、その解決策を考えるワークショップを行いました。私たちの班は「大気汚染問題」について議論を行いました。きっかけは、台南学生の方が外出時にマスクを必ずしていることに、私が疑問に感じたことでした。フィールドワークではマスクをつける頻度や不快感があるかなど、現地の方へインタビューを行いました。フィールドワークでは、台南大学の学生が私たち日本の学生を引っ張ってくれました。問題への解決策を考える際には、授業で学習したSystem Thinkingを使い、論理的に解決策を導く努力を行いました。初日では、みんな恥ずかしそうに議論していたのに対し、この段階では、みんな積極的に意見交換ができていたと思います。グループワークではお互いの役割を真剣に取り組み、最高のチームワークでした。このサマーキャンプに参加する前は、英語でグループディスカッションが上手くできるか不安でしたが、実際はまったく問題ありませんでした。最後のプレゼンテーションでは、グループメンバー全員が発表に参加し、グループのアイデアの導出課程や、アイデア内容について発表しました。発表30分前には、みんなが焦りだして各々の原稿をつぶやいている姿は面白かったです。この英語でグループワークをやりきった経験は私の自信になりました。



台南大学の外観



グループワーク時の様子

★★★
台南の学生の方とは、グループワークだけでなく、一緒に食事や観光をすることで交流を深めました。台南大学の学生の方は本当に優しく、毎晩私たちの外食に付き合ってくれました。お勧めのお店に連れていってくれたり、わざわざ調べてくれたりしました。店のメニューもほとんどが中国語で書かれているため、すべて説明してくれました。台湾の国民性は非常に、フレンドリーで他人に優しいです。私も彼らを見習いたいと何回も思いました。また食事の会話でお互いの趣味や文化について教えあいました。将来の就職について悩んでいることや、音楽や漫画やテレビが好きであることは、日本も台湾も変わりはありませんでした。K-POP や日本の漫画が台南の学生には人気があるようでした。台湾の有名人も何人か教えてもらいました。台南の食事は辛いものや甘いものが多いです。辛いものを食べながら、甘いお茶を飲むことが多かったです。また Night Market が毎日開かれています。私も初日に大東夜市という、Night Market に行きました。台南の学生がお勧めの食べ物を教えてくれたので、とても美味しい物を食べることができました。私のお気に入りにはマンゴージュースと台湾ビールで、この一週間で何回か、マンゴージュースを飲み、お土産には台湾ビールを買いました。日本よりも物価が安いので、全ての食事を安くすませることができました。台南大学の学生がお勧めの食べ物やお菓子を毎日教えてくれるので、台南にいる間は常に何かを食べていたと思います。私たちにとって食事とともにすることは、最も簡単で楽しいコミュニケーション方法でした。

また、台南大学の学生に簡単な中国語も教えて頂きました。英語は世界共通のコミュニケーション言語で、英語ができることは大変重要ですが、現地の言葉を簡単にでも知っていれば、更に仲が深まると思いました。私は中国語について全然勉強して行かなかったため、大変後悔しました。台南では何回か現地の方に日本語で話しかけられて、とても嬉しかったです。次、どこかにいく時は現地の言葉を少しでも覚えて行こうと思います。

またサマーキャンプのプログラムに含まれていた Southern Tainan Science Park では台湾の有名企業や海外の有名企業が一箇所に集まるビジネス町のようなものを観光しました。台南の街中は台湾の中でも田舎でしたが、ここは台湾の最先端のビジネスエリアのようでした。ここでも現地スタッフが英語で説明して頂きました。私は台湾の産業について興味があったので、この見学は大変面白かったです。Optoelectronic Industry や IC Industry に分類される企業が集結していました。このエリアの中では、寮やスーパー、ジムなども充実していました。個人の観光では行くことがないような場所だったため、このサマーキャンプのプログラムで行けて嬉しかったです。

今回のサマーキャンプを通して、台南大学の学生の方と深く交流ができて本当に楽しかったです。また台南の方のホスピタリティや親切さは、勉強になりました。英語がもっと話せればと思うときも何回もあったので、英語の勉強を続ける良いモチベーションになりました。System Thinking や Design Thinking で学んだ問題解決フローの知識はまだまだですので、今後もう少し勉強が必要だと感じました。このサマーキャンプで学んだことを、継続して学び実践していこうと思います。



台南のお寺

中に入って台湾式の参拝も教えてもらいました。



6日目の国立公園見学

船で公園内の見学をしました。

